

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
合同会社 フォレストファーム	社員3名	秋田県羽後町	地域農業を支える担い手の確保	7回 うち専門家派遣回数 4回

## 相談内容・現状課題

### ■相談内容

集落に農業の後継者不足に対する危機感があり、農地の受け手となる法人設立の道筋を自分が示したい。

設立に当たり、どのような法人形態がいか、どのように設立するのか、運営面でどんなことが変わっていくのか等に関して不安が多いことから支援をお願いしたい。

### ■現状課題等

- ・集落営農組織は平成19年に設立されたが、法人化には至っていない。
- ・当該集落は中山間に位置し、小規模な稲作経営が多く、農業者の高齢化が進み、離農が年々増えている。
- ・離農した農業者の農地の大半が集落営農組織の組合長(個人)に利用権設定されており、集落内の約半分の農地が集積されている状況。



集落の風景

## 相談所の支援体制・伴走支援チームからの改善提案(問題解決方法)

### ■支援内容

- 1 支援チームの編成  
羽後町、JA、普及指導員、税理士、司法書士  
計5名



法人設立の様子

- 2 支援内容

#### (1) 地域の現状と課題の整理

既存の集落営農組織の運営状況等を確認、法人設立後の集落内農業者との関係等について助言。また、希望する法人形態や出資規模、構成員数等の合意形成について支援。

相談者は将来、林道整備や除排雪などの農外の収益事業の計画があったことから、株式会社より設立費用が掛からない合同会社を選択することとなった。

#### (2) 経営診断及び法人化に伴う税務会計の助言

現在の収支や税務申告状況、法人設立後の収支計画を確認・診断し、水稻の安定的な収益確保と複合部門の実践、税務・運営面から法人化のメリットや注意点等を指導。

#### (3) 定款・設立登記申請手続の指導

事業目的や内容、出資額・出資方法など定款の記載内容について指導。また、設立登記申請に必要な書類、記載内容を指導し、スムーズな設立登記申請に向けた支援を実施。

## 支援の成果・その後の状況

### ■支援の成果・その後の状況

令和2年1月に農業法人を設立するとともに、集落内での話し合いの結果、集落営農組織の構成員が持つ農地のほとんどが当該法人に引き継がれ、集落営農組織は発展的に解散することとなった。

集落から理解と協力を得ながら、人・農地プランの中心経営体として令和2年4月から営農を開始。収益確保と雇用機会の創出のため、水稻と併せて複合部門として小菊15aの栽培も開始したところである。

### ■コーディネーター所感

支援対象からの相談に応えるため、戦略会議で税理士、司法書士の専門家を含む支援チームを編成して支援に当たった。

既存の集落営農組織の経営診断から、基幹となる水稻収益の安定化に加え複合部門の導入を指導することで経営基盤の強化を図ることができた。

引き続き、法人経営の持続的発展に向けた支援に努めていく。